

社会資本総合整備計画（都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業） 事後評価書

平成26年12月26日

計画の名称	鈴鹿市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業																
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）				交付対象	鈴鹿市											
計画の目標	鈴鹿市における都市基幹公園及び住区基幹公園において中心となる公園を選定した。地域住民の健康寿命の促進を図ることを目的とし、地域の散歩コースに沿った公園に、障がい者の方を含めて誰もが快適に利用できる施設の提供を行うため、バリアフリー化による便所の改修を実施し、バリアフリー化率の向上を図るとともに、老朽化した遊具、園路・広場施設の更新をおこない安全性確保に取り組む。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市における公園施設の改築等が必要な公園数64公園（H22）を4年間で64公園改築等を行う。 ・都市公園に設置されているトイレ55公園のうちバリアフリー適合公園数18公園をH25年度までに2公園拡充し20公園とする。 																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)											
① 公園施設の改築等を行った公園数を公園施設の改築等が必要な公園数で除した割合を算出する。 (公園施設の改築等を行った公園数の割合) = (公園施設の改築等を行った公園数) / (公園施設の改築等が必要な公園数)				0%	-	100%											
② 都市公園のトイレ設置公園のうちバリアフリー化を行った（されている）公園数をトイレ設置公園数で除した割合を算出する。 (都市公園のトイレのバリアフリー化の割合) = (都市公園のトイレのバリアフリー化をした（されている）公園数) / (トイレ設置公園数)				33%	-	36%											
全体事業費	合計 (A+B+C)	200百万円	A	200百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%							
事後評価（中間評価）																	
◎事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期												
鈴鹿市					平成26年度												
					公表の方法												
					鈴鹿市のホームページに掲載												
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
	公園	一般	鈴鹿市	直接	-		改築	遊戯施設の更新及び公園施設のバリアフリー化	弁天山公園外64公園	鈴鹿市	H22	H23	H24	H25		200	
小計											200						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレのバリアフリー化により、高齢者や障がい者を含めた地域住民の利便性が図られた。 ・遊戯施設や休息施設等を改築したことにより、誰もが安全で安心して遊べて休息できる空間を創られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（公園施設の改築等を行った公園数の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	交付金が満額交付されなかったことにより計画どおり改築できなかったため。市単独事業においても、ほかの整備すべき公園施設の整備を進めたため。
		最終実績値	86%		
	指標②（都市公園のトイレのバリアフリー化の割合）	最終目標値	36%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	36%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後も、トイレ以外の公園施設のバリアフリー化を進め、長寿命化計画に基づき遊戯施設の改築を計画的に行い、誰もが安全・安心で使用できる公園施設を管理していく。</p>					

計画の名称	鈴鹿市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度（4年間）	交付対象	鈴鹿市

